

GIGAスクール構想に係る学校情報機器整備事業等について

1 目的

GIGAスクール構想は児童・生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するとともに、これまでの教育実践の蓄積と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことを目的としています。

国の新型コロナウイルス感染症緊急対策において、GIGAスクール構想のプロジェクトを加速化する方針が示されたことから、国の補助事業を活用し、感染症の影響がある中でもICTの活用により子供たちの学びを保障できる環境を早期に実現するものです。

2 事業概要

(1) 公立学校情報機器整備事業

児童・生徒及び教職員に1人1台情報端末（タブレット）と必要なソフトウェアを整備。（国定額補助）：児童・生徒分の整備端末台数の2/3×45,000円）

○端末整備台数 2,423台

小学校児童分 1,460台、中学校生徒分 803台、教職員・予備分 160台

(2) 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業

児童・生徒1人1台端末を円滑に運用するために必要な校内無線LANを整備。（国補助率1/2）

○校内無線LAN整備校 市内小中学校

3 事業費

事業名	内容	小学校費	中学校費	計
公立学校情報機器整備事業	情報端末、ソフトウェア等購入費	135,263千円	45,469千円	180,732千円
公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	校内無線LAN整備費	117,403千円	45,673千円	163,076千円
学校区分別計		252,666千円	91,142千円	343,808千円